



# 地域で子育てを支援!

## 安心して子育てができる前橋



| 地域子育て支援センター |              |          |
|-------------|--------------|----------|
| 保育所(園)      | 住所           | 電話番号     |
| 岩神保育園       | 岩神町二丁目 5-12  | 231-1696 |
| 第二保育所       | 三河町一丁目 18-26 | 224-5930 |
| あゆみ保育園      | 朝倉町 861      | 265-3322 |
| 上陽保育園       | 西善町 598-2    | 266-1493 |
| 愛泉保育園       | 江木町 518      | 268-3423 |
| 中央大橋保育園     | 石倉町五丁目 21-5  | 252-3637 |
| 総社第二保育園     | 総社町植野 511-1  | 251-5428 |
| 上細井保育園      | 上細井町 137-5   | 234-1711 |
| 大胡第二保育園     | 堀越町 1390-3   | 283-6778 |
| 赤城育心保育園     | 市之関町 401     | 283-4148 |
| 柏川保育所       | 柏川町新屋 688-1  | 285-2107 |
| 二之宮保育園      | 二之宮町 1810-1  | 268-3620 |
| ほらりす保育園     | 富士見町原之郷 1268 | 230-5335 |
| 北保育園        | 関根町三丁目 6-1   | 233-2144 |
| 子育て広場       |              |          |
| 名称          | 住所           | 電話番号     |
| 親子元気ルーム     | 本町二丁目 12-1   | 210-2268 |



郷のほらりす保育園内にあります。ウッドデッキを備えた木の温かみを感じられる建物で、専任の保育士2人が対応しています。広々とした部屋には、滑り台や積み木などが備えられ、とりわけ保育士たちの手作りおもちゃが目につきました。保育園の園児との交流もでき、団体行動を体験したり、園内の施設を利用したりすることもできます。また、年齢別のイベントや遊びを行っているほか、テニスやエアロビクスなどの親子サークル活動、公園や保健センターなどでの出張保育も行っています。案内してくれた園長によると、利用者と積極的にコミュニケーションを図り、悩み事のある人が相談しやすい環境づくりに努めているそうです。また、利用者からの意見も取り入れながら運営していて、地域に定着しているように感じました。利用者に向けてみると、「広くて安全。ここで知り合った人と誘い合わせて来場している」とのこと。子どもが安心して遊べるだけではなく、ここを訪れた親同士が交流し、悩みを相談できる場となっていました。

**編集後記**  
この事業に関わった人たちが、頭が痛いほどです。通じて支える声や、前橋の子育てが再認識されました。

**子どもを育てるなら前橋**  
少子高齢化が進む中で、地域を担う子どもたちを安心して育てられる環境を整えることはとても大切です。安心して子育てができることが分れば、子どもの数も増えるかもしれませんし、女性ばかりに頼らない子育てが実現すれば、男女共同参画もさらに進みます。  
紹介した施設は、全ての親子が対象で、市外在住の人も利用できます。2つの施設を見学して、「子どもを育てるなら前橋」と実感しました。  
しかし、まだ課題もあると思います。子育て支援事業について広く知ってもらうこと。また、このような施設に行くことのできない子育て家庭にも着目して、支援を展開することが必要ではないでしょうか。



3歳未満の子どもの7~8割は家庭で子育てが行われているそうです。こうした子育て家庭の親子が気軽に交流し、不安や悩みを相談できる場として「子育て支援事業」の取り組みが市内15カ所で行われています。担当は市民編集委員 船津・星野

問い合わせは 保育課 ☎220-5706

親子遊びや子育て世代が交流できる、「親子元気ルーム」。対象は、主に3才未満児の親子です。施設に入るとまず目に飛び込んでくるのは、カラフルな色合いのじゅうたんや遊具。おもちゃは木製の物が多く目につきました。

昔の子育ては、家庭だけでなく近所、いわば地域全体が関わりを持っていました。危ないことや悪いことをしている子どもがいれば、目にした人が注意をしたものです。「おはよう。行ってらっしゃい」「お帰りなさい。早くお家に帰りなさいね」顔を合わせれば、あいさつするのが当たり前。子育てに悩むことがあれば、近所の先輩たちが相談に乗ってくれました。しかし、核家族化が進み、子どもの数も減少。地域のつながりが希薄になった近年、子育て世代が孤立し、子育てに対する不安感や負担感が親たちに押し寄せているのではないのでしょうか。こうした子育てを支援する場として、前橋市が設置している支援拠点を取材しました。



**ほらりす保育園**  
子育て支援センター「ぎんが」  
子育て支援センターは、概ね中学校区に1カ所の割合で市内14カ所に設置されています。利用は無料。育児のノウハウを有する保育所を活用し、地域全体で子育てを支援する施設です。「ぎんが」は、富士見町原之郷のほらりす保育園内にあります。

利用者に話を聞くと、「家では危ないと感じることもあるが、ここは安全で安心して遊ばせることができる。月に10回以上利用している」とのこと。リピーターも多いようです。混雑する日は、50分ごとに入れ替えがありますが、何度でも入場することができ、利用は無料です。スタッフは、全部で26人。健康・言語・食事・睡眠などの、子育てについての相談もでき、保育園の園長などが相談にあたっています。笑顔で元気に対応することを心掛けているそうです。ピンク色のエプロンが印象に残りました。  
同じフロアには、全国有数の規模のこども図書館や雨でも遊べるプレイルームもあり、子育て世代へのサービスが充実しているように感じました。